2015 年（H27 年） 8 月 6 日（木） 高知新聞(朝刊)

須崎工造船部 2種目連覇

「やった！」。優勝を喜ぶ造船部員ら（須崎市の須崎工高）

【須崎】太陽光発電で走るソーラーボートの競技大会「柳川ソーラーボート大会」がこのほど、福岡県柳川市で開かれ、須崎市の須崎工業高校造船部が「周回」「スラローム」のそれぞれ学生の部でいずれも優勝、準優勝に輝いた。昨年に続く２種目ワンツーフィニッシュで、３連覇となるスラロームでは、３年連続で新記録を樹立した。生徒たちは「みんなで協力して勝てた」と喜びをかみしめている。（山本　仁）

福岡のソーラー艇大会「協力で勝利」

造船部は2、3年生の計7人。2014年の優勝艇「SukoⅢ」と7月上旬に完成した「Horiwari star」に、昨年と同じ2人が乗り込み勝負に臨んだ。

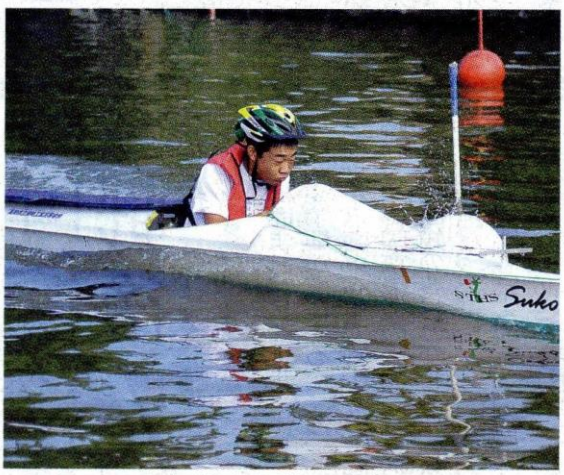
大会は今月1、2日に開かれ、柳川城の堀（1周約3・1キロ）を3周する周回と、直線150メートルに浮かべたブイの間を縫って進むスラロームに一般の部19艇、学生の部22艇が出場した。

須崎工高は11年に周回で初優勝。13年はスラロームで1、2位に輝き、昨年は2種目で1、2位を制覇した。

今大会もスラロームでは、1位の「Ⅲ」が27秒07、2位の「Ⅰstar」が27秒44を記録。3位の36秒05を大きく引き離して盤石のレースを見せた。「Ⅲ」は一般の部の優勝タイムを0秒30上回る好記録だった。

しかし最後に控えた周回の決勝直前、1艇の配線がショートするなどのトラブルに見舞われた。突然のことに部員は「出走できないのでは…」と不安な表情も見せたが、木下裕次郎顧問と協力して懸命に復旧。序盤から安定したレース運びで優勝を果たした。

操縦を担当した2年生、森守君(17)は「(連覇の)プレッシャーもあったけど、みんなに緊張をほぐしてもらった。来年はもっと記録を更新したい」。部長の3年生、嶋崎史晃君(17)も「練習してきたので、協力してトラブルを乗り越えられた」と笑顔で話していた。



スラロームに挑む須崎工高艇（福岡県柳川市＝同校提供）

高知新聞

造船科・造船部

全国３連覇達成！！

高知新聞社提供複製を禁ず